

2017年11月20日発行 (36号) 夕陽会広報部

夕陽会防災訓練(10月1日)報告

秋晴れの好天に恵まれ、名簿に記帳いただいただけでも66名の方々の参加による「夕陽会」の防災訓練が行われました。将来を担うお子様達も14名。明るく真剣味のあるイベントになりました。

日曜日にもかかわらず杉野学園様の全面的なご協力のもと、品川消防署(五反田出張所)、品川区役所防災センターの皆様にご指導していただき感謝しております。



はじめての試みとして、食堂を会場にして【出前教室(防災の基礎知識を身につける)】を開催しました。

「知識として知っていることが多かったが、改めて思い出す機会として貴重な時間だった。来年も開催されたら参加する。」といった感想をいただきました。

出前教室が始まる前の待ち時間を利用し、塚田副会長(アシスト佐藤副会長)から【防災カフェ】(次頁)の報告と冊子【東京防災】から実践的防災用品・緊急対応策、およびアルファ化米を還元しおにぎり作りの実習が行われました。



「天災は忘れた頃にやって来る!」という警句を忘れないよう、日々の暮らしに取り入れたいものですね。

(高橋和宏)

防災カフェ【しながわ防災学校】

(塚田晴子)

9月26日(木)午後、大崎第一地区町会自治会連合会主催で、防災についての女性のための講演会と実習が地域センターで行われました。教会の辻から佐藤夫人、衣装博物館の辻から塚田、西会長の辻から鈴木夫人と藤井夫人の4名が参加しました。夕陽会の災害時の共助は、各マンション内のほか、各辻ごとの戸建ての活動が大切だからです。次回からは各マンションからも出て下さるとありがたいと思います。

はじめに、背筋の凍るような津波の体験をされ、現在「東日本大震災語り部」として活動なさっている山田洋子先生のお話を伺いました。石巻の海岸近くで母上と兄上とお寿司屋さんを営まれていらしたので、日頃から津波が来た時のことは話し合われていました。

しかし、いざという時には「必要な薬」を忘れたとのこと。薬の他、メガネ、入れ歯、透析手帳など個人的なものは、避難先で入手できません。気を付けましょう!

夕陽会の住人全てが避難所である「第4日野小」に避難できる訳ではありません。せいぜい150人です。山田さんによると、在宅避難者は救助の対象から外され、物資も情報も一切なかった、とのビックリするようなお話でした。避難所でさえ、被災直後はおにぎり一つ菓子パン一つを家族みんなで分け合ったそうです。皆様の家族が最低限3日(理想は1週間)生き抜くための水(一人一日3ℓ)・食料・トイレ(おむつ生理用品)その他の備えをなさって下さい。

実習は、お湯や水を加えるだけで「ご飯」になるアルファ化米でおにぎりを作りました。乾燥したご飯の入った袋を開けてお湯を入れる時、乾燥剤を取り出すのを忘れて水分量を間違えたりしました。一度経験しておくことをお勧めします。

非常食には、パンの缶詰もありますが、備蓄時にかさばる分量も少なく腹持ちも良くありませんから、お勧めできません。あくまでも、災害時、非常時の備えです。自分の家族について、責任を持ちましょう。

東京都から各家庭に配布された黄色と黒の「東京防災」という本、手元にありますか?

P.081「今やろう 防災アクション」

ここだけ、今すぐ、読んでおいて下さい。

きっと、役に立つ日が来ます!!!



最近のトピックス

■喜多能楽堂 親子鑑賞会 (8/26)

鑑賞会に夕陽会関係者が招待されました。60名の親子が参加して楽器の演奏指導を受け、能楽「船弁慶」の鑑賞を楽しみました。子供達は鼓や太鼓の稽古で、声を出すタイミングに戸惑いながらも元気よく打っていました。船弁慶鑑賞では古典芸能の一端を受け止めようと、真剣なまなざしで能楽師の動きに食い入っていました。



■敬老の日のお祝い (9/18)

- ・夕陽会からお祝い品進呈対象の85歳以上の方は59名(去年は53名)。
- ・54軒のご家庭にカステラを手渡し、内お二人とも対象のご家庭5軒にはお茶を添えた。
- ・訪問配布は柳澤民生委員(理事)、西会長、佐久間副会長、高橋理事の4名で手分けした。
- ・今回もカステラの手配等、中村副会長にお骨折りを頂いた。

■秋の「理事会 / 理事・監事懇談会」 (10/2)

<検討事項1件> ~敬老の日祝賀(お祝い品)の方式見直しについて~

- 提案:①2018年度は、70歳～85歳全員に祝賀(不公平性を解消するため)
②2019年度以降、70歳および85歳のみ祝賀

提案の背景

- ・敬老の日お祝いの対象年齢を数年に一度の割で、資格発生の年齢を後ろにずらしてきた。しかし、近い将来85歳以上の方への贈呈がますます増加し、団塊の世代がその対象になる頃には町内会の予算上、この事業継続が困難になる。
→ 85歳以上の同じ方への毎年の贈呈を中止したい。
- ・品川区と東京都から高年齢の節目に支給されるお祝いとの重複を避ける。
- ・若い高齢者(例えば70歳過ぎ)に、町内会活動に参画願うきっかけを作りたい。

特に異論等はなかったが、決定ではないので、来年の理事会・総会(4月)までに意見があれば事務局まで連絡願うこととなった。

(出席者:西・佐藤・杉野・塚田・七沢・柳澤・佐久間・椎野・小川・高橋
与倉・小谷・石川・磯部・柳澤(雪)・今井・金子・洪・吉田)

■目黒ミュージックフェスタ (7/30)

目黒駅西口の6ヶ所で、今年もプロからアマチュアまでジャンルも世代も超えた幅広いミュージシャンが出演。右の写真は、(アマ)目黒招福一座による【南京玉すだれ】



■子ども神輿 (10/7) 山車 (10/8) (目黒西口町会主催)

- ・子ども神輿のお祭りには、子ども会が中心となり夕陽会として参加。
- ・大人の山車は、ドレメ通りを練り歩き到着は少し遅れて15時ごろ。山車は農林中金目黒分室エントランススペースにしばし鎮座。担ぎ手はカトリック目黒教会広場で休憩。150人分の冷たい飲み物と茶菓を準備し、理事有志により夕陽会として接遇した。

